

『ICT&データサイエンスのリテラシー』に誤りがございました。
お詫び申し上げますとともに、下記のように訂正いたします。

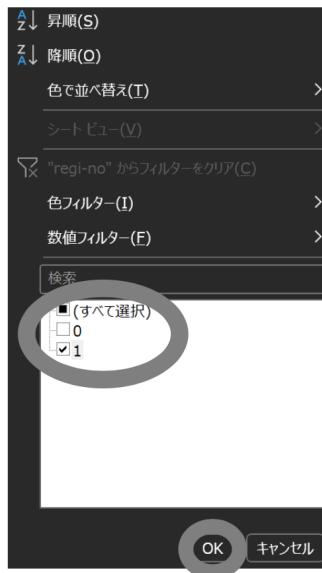
法律文化社。

1. 第IX章 実習（右ページ）(c) 6) (167ページ) 補足

「Macの場合、ダイアログ以外の所をクリックする」と、ダイアログが閉じます。

(c) フィルターでグッズ売り場のレコードだけを抽出

- 4) データの一部（1つ目の「万年筆」など）をクリックし、[データ]の中の[フィルター]（）をクリックすると、項目名に  が付く。
- 5) [regi-no]の  をクリックして、パネルで[すべて]をクリックして一度すべてのチェックを外し、学園グッズ売り場のレジを表す[1]をクリックしてチェックを入れる。自動適用が設定されていたら、自動的に学園グッズ売り場[regi-no=1]のレコードのみ表示される（下図は一部のみ）（自動適用でない場合は[OK]）。



no	date-time	regi-no	item	price	tot	p	bill-no
49616-00001	2035/11/03 10:01:23	1	101 万年筆	1150	1150		
49616-00001	2035/11/03 10:01:23	1	101 万年筆	1150	2300	0	320022
49616-00003	2035/11/03 10:02:54	1	101 クリア・フォルダー	120	120	1	10082
49616-00005	2035/11/03 10:05:42	1	101 チャーム	700	700	1	10082
49616-00007	2035/11/03 10:07:11	1	101 チャーム	700	700	0	320022
49616-00009	2035/11/03 10:08:33	1	101 チャーム	700	700	0	320022
49616-00014	2035/11/03 10:14:23	1	101 チャーム	700	700		
49616-00014	2035/11/03 10:14:23	1	101 マウス・パッド	580	1280		
49616-00014	2035/11/03 10:14:23	1	101 チャーム	700	1980	1	10082
49616-00016	2035/11/03 10:17:11	1	101 チャーム	700	700	3	12!
49616-00018	2035/11/03 10:18:44	1	101 チャーム	700	700	2	98880!
49616-00020	2035/11/03 10:20:11	1	101 クリア・フォルダー	120	120		
49616-00020	2035/11/03 10:20:11	1	101 チャーム	700	820	1	10082
49616-00023	2035/11/03 10:23:00	1	101 104 CD	920	920	3	12!
49616-00025	2035/11/03 10:25:54	1	101 チャーム	700	700		
49616-00025	2035/11/03 10:25:54	1	101 106 万年筆	1150	2550	3	12!
49616-00027	2035/11/03 10:28:44	1	101 チャーム	700	700	3	12!
49616-00028	2035/11/03 10:30:14	1	101 クリア・フォルダー	120	120	1	10082
49616-00030	2035/11/03 10:31:44	1	101 チャーム	700	700	0	320022
49616-00031	2035/11/03 10:33:00	1	101 マウス・パッド	580	580	2	98880!

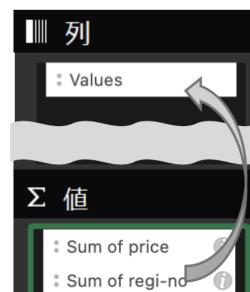
- 6) 確認ができたら、フィルターの設定ダイアログ（ウィンドウ）を[OK]で閉じておく。
(Macの場合、ダイアログ以外の所をクリックして閉じておく。)

2. ★ 第IX章 実習（右ページ）(j) 40) (173ページ) 訂正

- （誤）右下の[Value]ボックス （正）右下の[値]ボックス
 （誤）[regi-no]をドラッグして （正）[Sum of regi-no]をドラッグして

(j) カフェ混在データで販売実績

- 38) [データ]シートを選び、一番下の[price]の合計（subtotalの計算結果）を[delete]キーで消去する。データの1つをクリックし、フィルターを解除しておいてから、[挿入]の中にある[ピボットテーブル]（）をクリックする。
- 39) ダイアログに[OK]で答え、右上の項目で、[regi-no]、[item]、[price]をクリックしてチェックを入れると、表が表示される。
- 40) [regi-no]まで合計されているので、右下の  ボックスにある [Sum of regi-no]をドラッグして、上の[列]ボックスに入れる。
- 41) シート名を、それぞれ(i)[ピボット]と(j)[全データピボット]とし、上書き保存をしておく。



3. ★ 第IX章 実習(右ページ)(k) 42)(175ページ) 訂正

(誤) [データ]シートを選び、 (正) [グッズ分析]シートを選び、

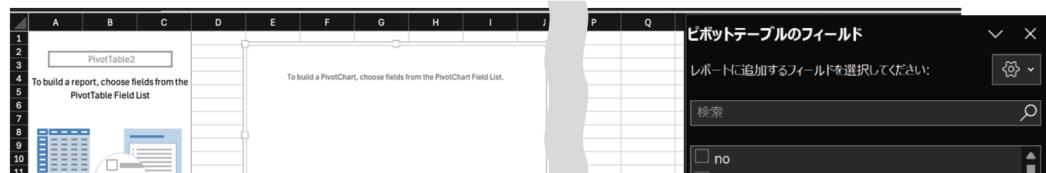
(k) 学園グッズ販売レコードのピボットグラフでの分析

42) [グッズ分析]シートを選び、上のレコード(学園グッズ販売のみのデータ)の一部(A2など)をクリックして選択しておく。

43) [挿入]の中の[ピボットグラフ] ()をクリックする。

44) ダイアログにデータ範囲と作成先(新規シート)が選ばれていることを確認し、[OK]。

45) するとピボットテーブルを作成する時と同じような画面となるが、グラフ領域が追加されている。



4. ★ 第X章 実習(右ページ)(e) (187ページ) 訂正

(誤) 「20800」 (正) 「208000」

(e) ①の表で、Dさんの回答、「208000」を「1000000」に

10) 「D7」のセルを選択し、上から「1000000」を入力し、[enter]キーを押す。

4	Dさん	1000000
5	Eさん	19000

小数点以下の表示は、セル幅によって異なる。

11) ①の表および②の表の平均が再計算される。

それぞれ①「53880」、②「79235.29412」となる。

①ソース	バイト代(円)	②0抜き	バイト代(円)
1	21000	1	21000

5. ★ 第X章 実習(右ページ)(g) (189ページ) 訂正

(誤) (次の左(実習)ページ) (正) (次の右(実習)ページ)

(g) 分散や標準偏差を求める。(次の右(実習)ページに、結果を示している。)

式の中でセル「D7」などはクリックして入力し、「\$」マークは[F4] ([Fn]+[F4]) で付ける。

15) 平均は求められているので、残りは、偏差、偏差の二乗、偏差の二乗の合計、分散、標準偏差の順で計算をしていく。その後、関数で求める。blueチームから始める。

16) **偏差** : 「E7」のセルを選択し「=D7-D\$13」と入力し[enter]を押す。redチームの表にコピーして貼り付けられるように、「\$」マークを工夫して付けている。[E7]の結果は、「-4」となる。

以上